

日本科学飼料協会 技術賞

	年 度	受賞者
第1回	昭和 37 年	竹井俊郎 (日本化学飼料株) フィッシュソリュブルの製造技術と企業的展開
第2回	昭和 38 年	三輪万治 (東洋紡績株) 亜硫酸パルプ廃液より飼料用酵母の製造に関する研究発明
第3回	昭和 40 年	森本 宏 (農林省 畜産試験場) 子豚の人工乳に関する研究ならびにその実用化
第4回	昭和 42 年	西川哲三郎 (日本配合飼料株) 本邦配合飼料製造技術の科学的開発
第5回	昭和 45 年	麻生和衛 (日本農産工業株) 配合飼料の開発利用に関する研究
第6回	昭和 47 年	吉田 実 (農林省 畜産試験場) 統計的手法の確立による化学工業製品等の飼料的開発に関する研究
第7回	昭和 48 年	高松千秋 (日本配合飼料株) 青江 弘 (日清製粉株) 魚類栄養に関する研究と養魚用配合飼料の開発
第8回	昭和 49 年	有吉修二郎 (味の素株) 産卵鶏の栄養とアミノ酸等による養鶏飼料の開発
第9回	昭和 50 年	亀岡暄一 (農水省 畜産試験場) 反芻家畜の栄養の研究と飼料の開発
第10回	昭和 51 年	庄司圭吾 (日本農産工業株) 鶏の栄養に関する研究と配合飼料並びに関連技術の普及、発展に対する貢献
第11回	昭和 52 年	田中庸雄 (日本配合飼料株) 家畜飼料の研究とその実用化並びに配合飼料及び飼料添加物の普及
第12回	昭和 53 年	杉橋孝夫 (日清製粉株) 動物栄養研究とその実用化により配合飼料品質向上への寄与

- 第13回 昭和 54 年 窪田大作 (農林水産省 畜産試験場)
産卵鶏における養分要求量に関する研究、特に日本飼養標準
(家禽) の設定による成鶏用飼料の品質改善
- 第14回 昭和 55 年 菅原道熙 (アミノ飼料工業株)
アミノ酸栄養及び各種環境要因の解明による配合飼料の品質
の向上と適正利用
- 第15回 昭和 56 年 高橋正也 (農林水産省 畜産試験場)
子豚用人工乳の開発研究にはじまり、豚の飼養標準及び飼料
成分表設定の基礎となった一連の研究業績
- 第16回 昭和 57 年 戸塚耕二 (日本農産工業株)
家禽の栄養・飼料における代謝エネルギーの研究及び配合飼
料の品質向上
- 第17回 昭和 58 年 中島泰治 (日本配合飼料株)
豚の栄養・飼料の研究、特に子豚肉豚の窒素代謝の研究、一
環生産養豚を成功させるための飼料・飼養法の研究及び配合
飼料の品質向上
- 第18回 昭和 59 年 土黒定信 (農林水産省 畜産試験場)
卵用鶏の育成期における栄養、特に養分要求量に関する研究
及び養鶏用飼料の加工処理による栄養価の改善
- 第19回 昭和 60 年 三村二雄 (日清製粉株)
飼料添加物に関する研究、特に抗コクシジウム剤の評価及び
コクシジウム症予防のための飼料の品質改善
- 第20回 昭和 61 年 野口忠 (東京大学 農学部)
ニワトリヒナの筋胃潰瘍原因物質ジゼロシンに関する研究
- 第21回 昭和 62 年 山根哲夫 (日本配合飼料株)
日本のうずらの栄養必要量におよぼす飼育環境の影響に関する
研究及び採卵鶏栄養管理法の完成と応用
- 第22回 昭和 63 年 針生程吉 (農林水産省 畜産試験場)
反芻家畜の尿素の利用に及ぼす蛋白質の影響に関する研究
- 第23回 平成 元年 江口潤 (科研製薬株)

- 抗生物質サリノマイシンの抗コクシジウム剤及び牛用肥育剤としての開発及び市場化に対する貢献
- 第24回 平成 2 年 古谷 修 (農林水産省 九州農業試験場)
小腸フィステル装着豚を用いる飼料栄養評価法の開発とその応用に関する研究
- 第25回 平成 3 年 河合 宏 (三菱化成株)
抗生物質ノシヘプタイドを豚及び鶏の成長促進を目的とした飼料添加物としての開発ならびに市場化に対する貢献
- 第26回 平成 4 年 山崎昌良 (農林水産省 畜産試験場)
産卵鶏の飼料蛋白質の利用効果の改善及び鶏用飼料の代謝エネルギー価及びアミノ酸の有効率に関する研究
- 第27回 平成 5 年 嶺 和正 (藤沢薬品工業株)
抗生物質ビコザマイシンの豚及び鶏の成長促進を目的とした飼料添加物としての開発ならびに市場化に対する貢献
- 第28回 平成 6 年 阿部 亮 (農林水産省 畜産試験場)
飼料の酵素分析法の開発とその応用に関する研究
- 第29回 平成 7 年 中村吉成 (ファイザー製薬株)
抗生物質センデュラマイシンナトリウムを鶏の成長促進を目的として飼料添加物としての開発ならびに市場化に対する貢献
- 第30回 平成 8 年 田辺 忍 (農林水産省 東北農業試験場)
子牛用代用乳の開発に関する研究
- 第31回 平成 9 年 木村信熙 (日清製粉株)
肉用牛飼料の粒度に関する研究及び肉牛飼料管理技術と検定粗飼料の開発
- 第32回 平成 10 年 武政正明 (農林水産省 畜産試験場)
鶏におけるフィチンリンの利用性改善に関する研究
- 第33回 平成 11 年 小出和之 (協和醗酵工業株)

- 伊奈孝二三 (協和醗酵工業株)
排泄物中の環境負荷物質の低減を目的とした環境保全型飼料の開発及び普及
- 第34回 平成 12 年 堀 河 博 (伊藤忠飼料株)
産卵鶏におけるカルシウム代謝と卵殻質の改善に関する研究
- 第35回 平成 13 年 寺 田 文 典 (農林水産省 畜産試験場)
高泌乳牛のエネルギー代謝とそのモニタリングに関する研究
- 第36回 平成 14 年 関 本 邦 敏 (日本農産工業株)
ヨウ素並びにヨード強化卵の生理活性に関する研究
- 第37回 平成 15 年 石 黒 瑛 一 (独立行政法人肥飼料検査所)
飼料添加用抗菌性物質の分析法に関する研究
- 第38回 平成 16 年 峯 苦 稔 三 (全国畜産サービス株式会社)
家畜配合飼料への天然機能性資材の応用
- 第39回 平成 17 年 松 本 光 人 (独立行政法人 畜産草地研究所)
反芻家畜における飼料中たん白質栄養の評価に関する研究
- 第40回 平成 18 年 本 菌 幸 弘 (日清丸紅飼料株)
高付加価値畜産物生産におけるハーブ原料利用に関する研究とその実用化
- 第41回 平成 19 年 後 藤 尚 也 (日本配合飼料株)
産卵鶏の卵殻質改善に関するカルシウム給与法とその作用機序に関する研究
- 第42回 平成 20 年 梶 雄 次 (独立行政法人 九州沖縄農業研究センター)
肥育豚のアミノ酸要求量の精密化と表示法に関する研究
- 第43回 平成 21 年 牧 野 幸 弘 (協同飼料株式会社)
誘導換羽専用飼料の研究およびその利用技術の開発
- 第44回 平成 22 年 甫 立 京 子 (独立行政法人 畜産草地研究所)
肉用牛におけるビタミンA制御と肉質向上技術に関する研究
- 第45回 平成 23 年 川 島 知 之 (独立行政法人 畜産草地研究所)

- 食品残さを利用したリキッドフィーディングに関する研究
- 第46回 平成 24 年 鈴木 敏 明 (物産バイオテック㈱)
養鶏における抗菌剤に代わる天然飼料素材の研究および
その利用技術の開発
- 第47回 平成 25 年 竹 中 昭 雄 (独立行政法人 畜産草地研究所)
反芻家畜におけるルーメン微生物と繊維消化の向上技術に
関する研究
- 第48回 平成 26 年 森 腰 俊 亨 (㈱松阪ファーム)
サルモネラ制御用資材 (鶏盲腸内容物培養飼料およびマン
ノース誘導体含有原料) の開発
- 第49回 平成 27 年 湊 一 (元 茨城大学農学部教授)
飼料由来サルモネラの検索および消化管内微生物叢の解析
技法の開発によるルーメン微生物系の解析
- 第50回 平成 28 年 阿 部 啓 之 ((国研)農研機構 畜産部門)
ウシにおけるインスリン依存型グルコーストランスポーターの構
造、組織分布の解析などの糖代謝系の解析およびニワトリ
における各種の機能性飼料の研究開発
- 平成 28 年 伊 吹 昌 久 (不二製油㈱)
 β -1, 4-マンノビオース (MNB) の工業的生産技術確立
および畜産における病原菌感染症防止、成長促進機能解明による
当該畜産業界への貢献
- 第51回 平成 29 年 永 西 修 ((国研)農研機構 畜産研究部門)
低・未利用資源の品質評価手法および給与技術の高度化に関
する研究
- 平成 29 年 宮 崎 茂 ((国研)農研機構 動物衛生研究部門)
家畜中毒の診断・予防及び飼料中の安全性確保に関する技術
開発
- 第52回 平成 30 年 三 森 眞 琴 ((国研)農研機構 畜産研究部門)
反芻家畜のルーメン微生物による飼料分解機構の解明および
メタン削減のための飼料添加の研究開発
- 第54回 令和 2 年 山 中 典 子 (国研)農研機構 動物衛生研究部門)

飼料を通じた畜産物の安全性に関する評価技術の開発

第55回 令和3年 村上 斉 (国研) 農研機構 畜産研究部門)

豚・家禽の衛生管理技術の向上に関する研究

第57回 令和5年 田島 清 (国研) 農研機構 畜産研究部門)

家畜における消化管微生物叢の多様性の解明とその応用